

Bモデル 事例3：書くこと（日常的な話題・意見文）

1 単元の目標

日常的な話題（学校をよりよくするための方策）について、書き手の主張や意図を理解した上で、自分の立場を明確にし、情報や考えなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・賛成・反対の意見を、論理の構成や展開を工夫して書いて伝えるために必要となる語彙や表現等を理解している。 ・日常的な話題について、賛成・反対の意見を論理の構成や展開を工夫して書いて伝える技能を身に付けている。相手の考えに賛成・反対するための方法を理解し、活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いたり、読んだりして理解した相手の考えや意図に応じて、賛成・反対の意見を論理の構成や主張とサポートの関係等の展開を工夫して書いて伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いたり、読んだりして理解した相手の考えや意図に応じて、賛成・反対の意見を論理の構成や主張とサポートの関係等の展開を工夫して書いて伝えようとしている。 ・読み手の立場に立って、批判的に自分の文章を見直したり、修正したりしようとしている。

3 テストについて

(1) 場所

教室（授業等での実施）

(2) 内容

自校の生徒会が出した学校をよりよくするための方策に対して、賛成・反対の考えを述べるための意見書を書こう。

(3) 準備物

課題用紙【資料1】、タイマー

(4) 所要時間等

30分で実施することを想定

(5) 方法

〈事前の準備〉

- ・同じ科目を担当する教師との間で採点方法を確認する。
- ・テストの内容や実施方法を確認し、生徒と共有する。
- ※生徒の到達レベルによっては、事前にテーマを提示することも考えられる。

〈テスト当日の流れ〉

- ・次の課題を採点の基準と併せて配付する。

第1問

あなたはA高校の生徒です。生徒会から出された次の3つの「学校をよりよくするための方策」の中から1つを選び、その方策に対して自分の考え（賛成又は反対）及びその理由を含む意見文を書いてください。（15分）

第2問

3つの方策について出された次の意見文の中から1つを選び、その意見文に対して、自分の意見を理由や例とともに書いてください。（15分）

- ・30分で書いた後、生徒は原稿を提出。
- ・生徒は原稿提出後、振り返りを行う。
- ・教師は採点の基準によって評価する。

(6) 採点の基準

次の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、下記の条件を全て満たしていれば、「b」（おおむね満足できる）としている。【資料2】

○第1問の条件

- 条件1：自分の立場（賛成又は反対）を明確にして、意見を書いている。
- 条件2：自分の主張をサポートする理由や具体例を書いている。
- 条件3：60語以内で書いている。 ※文量ではなく、内容を評価する。
- 条件4：第2問と同じ内容を記述していない。

○第2問の条件

※第1問と同様の条件とする。ただし、反対の立場の場合、相手の主張の全てに反論する必要はない。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	多少の誤りはあるが、語彙や表現を工夫し、読み手が理解しやすいように文章を構成し、自分の考えを英語で書いている。	四つの条件を満たした上で、主題や書き手の意図を理解して、自分の考えを適切な理由や根拠をもとに書いて伝えている。	四つの条件を満たした上で、主題や書き手の意図を理解して、自分の考えを適切な理由や根拠をもとに、相手に伝わるよう自分の考えを詳しく書いて伝えようとしている。
b	誤りは複数あるが、読み手に誤解を与えない程度の語彙や表現を用いて文章を構成し、自分の考えを英語で書いている。	論理構成、理由や根拠等に不備はあるが、四つの条件を満たし、主題や書き手の意図を理解して自分の考えを書いている。	論理構成、理由や根拠等に不備はあるが、四つの条件を満たし、主題や書き手の意図を理解して自分の考えを書こうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

4 テストまでの指導について

目標設定と共有

- ・単元の目標と評価規準を生徒と共有する。
- ・パフォーマンステストの内容と採点の基準を生徒と共有する。

授業での活動（3時間程度の授業を想定）

- ・教科書の内容が、異文化理解などの説明文であることを想定している。語彙や表現の定着、内容の理解に重点をおく。指導の際、生徒の学ぶ内容がパフォーマンステストにつながるよう留意する。
- ・ブレインストーミングやマッピングなどを用いて、自分の考えを整理する方法を指導する。
- ・効果的に自分の考えを伝えるための論理構成を指導するとともに、ディベートの際に使用するフレーズや語彙を指導する。
- ・上記の指導の後、練習の機会を設ける。練習の際にはICTを活用し、生徒同士で互いの意見を読み合ったり、それらにコメントや反論をしたりすることで、様々な意見や作例を見られるように活動を設定する。
- ・練習段階においては、文章の推敲にICTを活用する。自分の書いたものを生成AIに通し、語彙の使用や綴り、文法の誤りを修正したのち、場面に合わせて表現を自分で調整したものを提出する。その際、「自分が最初に書いたもの」、「生成AIの添削を受けたもの」、「自分で添削をしたもの」の3つが見えるようにする。

指導上の留意点

- ・言語面と内容面がつながるように指導を工夫する。
- ・AIを活用する際に、人間とAIの得手不得手について理解させ、適切にAIを活用できるようにする。

5 フィードバック

言語面においては、教師から誤りを訂正するのではなく、誤っている箇所を伝え生徒自身が推敲する形でフィードバックを行う。全ての誤りを訂正するようなフィードバックではなく、本課題で学習した理由や具体例を書くための表現などに重点を絞ったフィードバックをするなど、指導者の負担にも配慮しながら効率的なフィードバックを行う。

内容面においては、生徒が互いに読み合って互いの主張を精査したり、教師と意見を伝え合ったりするなど、他者の目線からも自分の論理の整合性を見直せるような形でフィードバックを行う。

【資料 1】課題用紙

第1問

あなたはA高校の生徒です。生徒会から出された次の3つの「学校をよりよくするための方策」の中から1つを選び、その方策に対して自分の考え（賛成又は反対）及びその理由を含む意見文を書いてください。（15分）

第2問

3つの方策について出された次の意見文の中から1つを選び、その意見文に対して、自分の意見を理由や例とともに書いてください。（15分）

<意見文①>

I do not think that students should be allowed to wear casual clothes at school. This is because school rules will be broken. Some students break the school rules to show their originality. That may lead to school problems like bad behaviors and fights. In addition, students get to spend a lot money on their clothes. They will keep buying new clothes because they want to show their clothes to friends. From these things, I do not think students should be allowed to wear casual clothes at school.

※意見文②・③は省略

○第1問の条件

条件1：自分の立場（賛成又は反対）を明確にして、意見を書いている。

条件2：自分の主張をサポートする理由や具体例を書いている。

条件3：60語以内で書いている。※文量ではなく、内容を評価する。

条件4：第2問と同じ内容を記述していない。

○第2問の条件

※第1問と同様の条件とする。ただし、反対の立場の場合、相手の主張全てに反論する必要はない。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	多少の誤りはあるが、語彙や表現を工夫し、読み手が理解しやすいように文章を構成し、自分の考えを英語で書いている。	四つの条件を満たした上で、主題や書き手の意図を理解して、自分の考えを適切な理由や根拠をもとに書いて伝えている。	四つの条件を満たした上で、主題や書き手の意図を理解して、自分の考えを適切な理由や根拠をもとに、相手に伝わるよう自分の考えを詳しく書いて伝えようとしている。
b	誤りは複数あるが、読み手に誤解を与えない程度の語彙や表現を用いて文章を構成し、自分の考えを英語で書いている。	論理構成、理由や根拠等に不備はあるが、四つの条件を満たし、主題や書き手の意図を理解して自分の考えを書いている。	論理構成、理由や根拠等に不備はあるが、四つの条件を満たし、主題や書き手の意図を理解して自分の考えを書こうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

【資料 2】生徒の解答例及び採点の結果の例 ※文法の誤り等を含む

○第 1 問

【生徒 A】

I believe that our high school should have more events. I have two reasons.
First, students can have more fun in school life. It's usually hard to study. So students should more fun.
Second, you can communicate to other grades. It's fun to talk with other grades.
From these reason, I agree.

(6) 採点の基準に沿って、全ての観点で「a」と評価した。

【生徒 B】

I don't think that students should study before SHR in the morning.
I have two reasons.
First, head isn't working.
Second, I'm sleepy in the morning.
From these reasons, I don't think that students should study before SHR in the morning.

(6) 採点の基準に沿って、全ての観点で「b」と評価した。

【生徒 C】

I think that students should be allowed to wear casual clothes at school.
This is because school fun grow.
change for casual cloths is school life grow!
I don't have bad reason.

(6) 採点の基準に沿って、全ての観点で「c」と評価した。

○第2問

【生徒A】

You said that students will keep buying new clothes because they want to show new clothes to their friends.

I disagree with your opinion. This is because you don't have to worry about it. If your friend said, "you are poor," you can stop being friends.

So, I disagree with your opinion.

(6) 採点の基準に沿って、全ての観点で「a」と評価した。

【生徒B】

You said school rules will be broken is not true.

Because it's will be grow up for school in the future. And, they don't buy clothes. Because they have enough cloths for school life.

So, I don't agree with your opinion.

(6) 採点の基準に沿って、全ての観点で「b」と評価した。

【生徒C】

You said don't think. This is because school rules will be broken.

I think always true this is because you don't have to buy a school uniforms. It is not cost money. for example, students get to spend a lot of money on their clothes.

they want to show their clothes to friend, boy friend and girl friend.

(6) 採点の基準に沿って、全ての観点で「c」と評価した。